

ひろしまけん 交通指導員だより

2009. 8
第3号

発行：広島県
環境県民局
交通安全対策室

☆交通指導員活動状況☆

〜尾道市交通指導員〜

「つまる・みる・まつ」
3つの約束



今回は、尾道市交通指導員さんを訪問しました。

その日は市内の保育園から依頼を受けた交通安全教室を開催されてきました。約七〇名の園児さんを対象に、道路の渡り方、信号の見方、飛び出しの危険などをペープサート（紙人形劇）により教えたり、模擬信号機を使って、横断歩道を渡る練習も行いました。そして最後に、今日学んだことを腹話術を用いて楽しく復習されました。

園児さんが飽きないようにと、お話の合間にダンスや指あそびを挟み、リラックスをさせ、「つまる・みる・まつ」という3つのお約束を様々な場面で繰り返すことによって、子どもたちに覚えさせる工夫をされていました。

日々、どのようなことを感じながら指導されていますか、と質問したところ、

「私たちはきっかけにすぎません。交通安全意識を高めるには、園や学校、家庭で交通安全の話をしていくことが必要です。その素材となれたらいいです。」とのことでした。

子どもたちはお土産として標識キャンディー（外袋に標識の描かれた紙を貼ったもの）をもらって帰りました。お家に帰って「どうろにとびだしたらあぶないよ・・・」とお父さんやお母さんたちに教えてあげているかもしれないですね。

☆手作りのペープサートや指人形など、たくさんグッズを見させていただきました。写真をいっくら撮らせていただいています。ご覧になりたい方は当室までご連絡ください。

メインキャラクター
はブタです☆



キッキッー！
あぶな〜い！！



…などを募集しています！

この欄では、指導員さんの日々の活動内容や活動を通じて感じていること、交通安全に関することや他の交通指導員への質問などを募集しています！

やってみよう！講習

- テーマ
夜間に発見されやすい服装の色と反射材ねらい
- ① 地味な服装は車の運転者から発見されにくく、事故につながるりやすいことを学びましょう。
- ② 色による見え方の違いを理解し、出来るだけ白色の服装や反射材を着用しましょう。
- 準備するもの
- ③ 白や黒など様々な色の紙又は布を黒いラシヤ紙に貼り付けた実験材料 ◇反射材サンプル ◇暗くなる部屋 ◇懐中電灯 ◇夜間の危険性に関する交通安全教育用ビデオ（実験材料やビデオは警察や交通安全協会に相談してみましよう。）

展開例(室内での実験)		時間
30分	実験の手順 ① 実験材料が見えないようにカバーをして配置しておく。 ② 部屋を暗くして、実験材料のカバーはずす。 ③ 暗い状態と懐中電灯を徐々に照らした状態での色の見え方を確認する。 ④ 反射材を掲出し光を当ててその効果を確認する。	30分
30分	まとめとして、夜間は白色系の服装をしたり、反射材を身に着けることが、安全につながることを理解する。	30分

留意事項

- ① ヒヤリ体験者がいない場合は、あらかじめ警察署や自治体の交通安全担当部署に依頼して、夜間事故の事例を集めてリーダーが解説しましょう。
- ② 光は懐中電灯を天井に向けて照射し、徐々に正面へ向けて、光の強弱をつけてみましょう。
- ③ 反射材は、光を照らした方向に戻る性質があるので、懐中電灯を参加者一人ひとりのところへ持つて行き、その効果を確認してもらいましょう。

秋の全国交通安全運動

実施期間 九月二十一日(月)～三十日(水)

☆運動の基本

「高齢者の交通事故防止」

- 道路を渡る前には必ず周囲を確認しましょう。
- 高齢ドライバーに対しては、思いやりのある運転をしましょう。

☆運動の重点

「全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底」

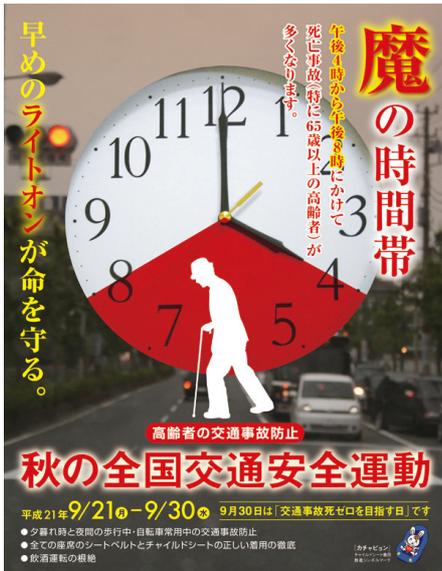
- 車に乗ったらシートベルトを着用しましょう。
- チャイルドシートは体格に合ったのを使用し、正しく着用しましょう。
- 「夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止」
- 夕暮れ・夜間に出かけるときは反射材を着用しましょう。
- 自転車に乗る時はライトを点灯しましょう。

「飲酒運転の根絶」

- 酒を飲んだら絶対車を運転しない。
- 車を運転する人にはお酒を勧めない。

交通死亡事故ゼロを目指す日

九月三十日【水】



内閣府

運動のゴールは「渡わらずに今を歩けるほっとした瞬間」

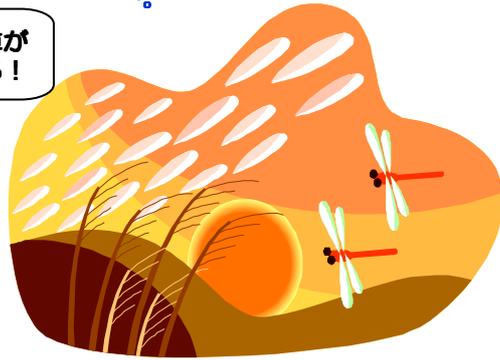


ふるって参加ください!

白馬の馬車がやってくる!

秋の全国交通安全運動開始式

9月18日(金) 午前9時00分から
 広島県庁正面広場(雨天時は1階ロビー)
 和太鼓と警察音楽隊の演奏
 馬車と高齢運転者の車両パレード



夕暮れ時や夜間には

おもいっきり目立ちましょう!

車は

★ 早めの点灯

夕暮れ時は、歩行者や自転車を見つけにくくなると同時に、歩行者や自転車からもはっきり見えません。日暮れが早いこの時期は、日没前からライトを点灯し、歩行者や自転車、他の車にも自転車の存在をアピールしましょう。

歩行者は

★ 明るい目立つ色の服を着る

昼間と夜間では、服の色により見え方が違います。白色や黄色は、夜間でも比較的に見えやすいのですが、昼間見えやすい赤色は、夜間は見えにくく、緑色や紺色などの暗い色は、夜間は大変見えにくくなります。

歩行者・自転車は

★ 反射材用品をつける

反射材用品をつけている人は、運転者から120mくらい離れていても見つけることができます。

- 夜間外出するときは、反射材を付けるよう家族みんなで配慮しましょう。
- 反射材用品を玄関の決まった場所に置いたり、日常使う靴やかばんに取り付けるなどの工夫をしましょう。

